

令和3年 6月 14日～ 16日

鳥羽市議会会議

一般質問通告者一覧表

発言通告者	議席番号	10番	氏名	戸上 健
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 市長は2期目の4年間で何をめざし何を実現するのか</p> <p>市長は先の市長選挙で「次のステージで私のめざす7つのこと」を公約した。新型コロナウイルス禍によって市民の多くは明日に希望を見いだせない状況にある。市民が夢と希望を持ち笑顔あふれて暮らせる社会の構築は政治の責任である。市長は行政のトップとして現状をどう打開し、何を実現しようとしているのか、以下の諸点の分野に絞って所見を問う。</p> <p>① 出産・子育て支援策について。 ② 高齢者対策について。 ③ 地域経済振興策について。</p> <p><市長及び教育長></p>			

発言通告者	議席番号	10番	氏名	戸上 健
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 地域資源活用の経済循環をめざす森林・林業政策について</p> <p>「山は海の恋人」と呼ばれ鳥羽の水産も山林によって育まれている。国も新しい「森林経営管理法」を施行した。市の全面積の7割を占める森林は鳥羽の貴重で大事な資源である。ではその山林の環境保全のため行政の取り組みはどうか。また真に有効な森林活用と林業振興策がなされているのか。具体的実行計画の存否を含め、市の対応策に関して次の諸点を問う。</p> <p>① 市の森林・林業の現状に対する市長の基本認識と振興策について。</p> <p>② 市の森林整備計画と間伐の促進について。</p> <p>③ 森林経営管理制度への対応について。</p> <p>④ 森林環境教育と木育の推進について。</p> <p><市長、教育長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	2 番	氏 名	濱 口 正 久
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 感染症対策の現状と課題、そこからみた地域共生社会について</p> <p>新型コロナウイルス感染症による影響は、感染の危機だけでなく経済的にも精神的にも多大なものとなっている。鳥羽市としても市内の感染対策や経済対策は幾度となく実施しているものの、終息のみえない不安は、さらなる影響の深刻化を招いているのは誰もが知るところである。安心安全を確保し平和な日常を取り戻すためには何よりもワクチン接種が有効と私は考える。また感染症対策を実施していく中でみえてきた誰ひとり取り残さない地域共生社会の実現に向けた取り組みも喫緊の課題であると考えている。</p> <p>そこで以下の諸点について問う。</p> <p>ワクチン接種について。</p> <p>① ワクチンについて。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワクチンとはどういうものか。 ・期待される効果は。 ・心配される副反応は。 <p>② ワクチン接種の現状と課題について。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・接種基準は。 ・接種の現状と課題は。 ・必要な支援は。 ・今後の予定と方向性は。 <p>③ 接種により期待できる市内経済への効果について。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・接種率の向上により期待される経済への効果は。 ・感染症対策による安心安全の取り組みの向上後に考えられる施策は。 			

発言通告者	議席番号	2 番	氏 名	濱 口 正 久
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>④ ワクチン接種の現状からみた地域共生社会の実現に向けた課題について。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢化率の高い地域の課題は。 ・ 地域共生社会の実現に向けて必要と考える取り組みは。 <p>⑤ だれ一人取り残さない社会の実現に向けて。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市長の考える鳥羽市のみらいは。 <p><市長、副市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	3 番	氏 名	瀬 崎 伸 一
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 鳥羽市における農業振興策について</p> <p>第1次産業の中でも、水産分野のイメージの強い鳥羽市であるが、半農半漁という表現があるように、人々がその地に暮らす生業として脈々と営まれ続ける農業についても、忘れてはならない重要施策である。近年、急速に進む高齢化の波が、第1次産業に等しく影を及ぼしているように、手放しでは、人々の生業維持さえままならぬ厳しい状況がある。そこで、鳥羽市においても、行政機関としての積極的施策展開こそ急務と考え、人々が生業とする農業の振興策について、以下の諸点を聞く。</p> <p>① 鳥羽市の農業の現状について。</p> <p>② 農産品版「鳥羽ブランド」商品について。</p> <p>③ 「鳥羽市水産研究所」と対をなす「鳥羽市農業研究所」の復活（創設）を視野に入れた農業振興を研究する機能の拡充について。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	7 番	氏 名	山 本 哲 也
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 市長の基本姿勢と公約実現に向けた取り組みについて 2期目に臨む市長の基本姿勢と公約について問う。</p> <p>① 選挙結果について。 ・どのようにとらえ、反映していくのか。</p> <p>② 公約実現に向けた取り組みについて。 ・海のシリコンバレー構想がもたらす恩恵について。 ・コンパクトプラスネットワーク構想が目指す今後の姿について。 ・観光政策、まちづくりをどのように進めていくのか。 ・コロナウイルス感染症で経営難に陥っている事業所等への支援策について。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	1 1 番	氏 名	浜 口 一 利
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ コンパクトプラスネットワークについて</p> <p>市長は公約で「誰もが安心して暮らせるまちにしたい」とコンパクトプラスネットワークに取り組むと言われました。 その基本的な考え方について次の点を聞きます。</p> <p>① いきいきと暮らせるまちをつくる新しい技術や工夫について。 ② 全国各地で事例がありますが、鳥羽市のコンパクトプラスネットワークの詳細について聞く。 ③ 「コンパクト」中心拠点の役割を担う場所について。 ④ 「ネットワーク」つなぐ事が大切ですが、定期船、バスなど公共交通の維持について。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	1 1 番	氏 名	浜 口 一 利
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ バーチャル病院について</p> <p>公約で「何処でも安心して医療が受けられるように」とバーチャル病院の取り組みを進めると言われました。鳥羽市がオンライン診療やクラウド型電子カルテ活用の先進モデルとなる事を目指すとしているが、このシステムを実現するにあたり、解決出来ない課題もあると考えられます。そこで次の点について聞きます。</p> <p>① 医師が不在でも看護師がいる診療所となりますが、全ての診療所がバーチャル病院が可能な環境にあるのか。</p> <p>② オンライン診療に特化した拠点があって、医師が常駐する体制を望むところですが、そのような体制の構築への考えは。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	1 2 番	氏 名	坂 倉 広 子
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ コロナ禍における避難所運営のあり方について</p> <p>近年、大規模地震や大規模水害など、想定を超える自然災害が頻発化、日常化している。こうした自然災害に対して、避難所を開設する場合には、新型コロナウイルス感染症の影響が広がる現下の状況を踏まえ、感染症への対策に万全を期することが重要となってきた。そこで、避難所における感染症リスクを下げるための避難所運営のあり方について、次の点について問う。</p> <p>① 民間避難所の開設について。 ② 分散避難の定着について。 ③ 感染症対策や女性の視点を生かした避難所の運営について。 ④ 発熱、咳等の症状のある方の避難所における生活環境について。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	1 2 番	氏 名	坂 倉 広 子
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 子育て支援施策について</p> <p>政府は、こども庁の創設を目指しているほか、行政のデジタル化により、子育て分野においても DX（デジタルトランスフォーメーション）を推進するなど子どもを中心に据えた政策を強力に進めようとしている。</p> <p>そこで、今後の子育て支援施策の方向性について次の点について問う。</p> <p>① 子ども条例について。 ② 子育て支援の ICT 化について。</p> <p><市長及び担当課長></p>			